

FOREX.com

TradingViewの活用法

2022年11月17日

アセンダント 山中康司

はじめにお読みください

<当社主催のセミナーについて>

- 本セミナーにて紹介する内容は、外国為替や株価指数取引に関する情報ですが、通貨や指数の種類に関わらずその売買を推奨するものではありません。
- 本セミナーにて紹介する内容は、特定の投資目的、金融情勢、あるいは特定の方のニーズを考慮ものではありません。
- 本セミナーにて紹介する情報は、信頼できる情報源から入手されたものですが、その正確性、完全性を保証するものではなく、当該情報または意見を信頼したことに起因して発生するいかなる直接的、間接的または結果的損失についても、弊社はいかなる責任も負いません。投資に関する判断の最終決定は、ご自身で判断されますようお願いいたします。
- 当セミナーにおいて、弊社の外国為替証拠金取引、CFD取引及びオプション取引への勧誘を行う場合もございます。
- アセダントおよびフォレックス・ドットコムは、本日のセミナーで示す手法の利用により生ずるいかなる損害の責任を負うものではありません。

ラジオ日経・FOREXチャンネル

FOREXチャンネル

番組紹介

ラジオNIKKEI第1 毎週火曜日 16:00～16:30

提供：FOREX.com

トレーダー目線を大切に！投資巧者の出演者がトレード手法を指南。マニアックに深掘りするテクニカル分析などトレードアイディア豊富にお送りします。

ノックアウトオプションなど、シンプルで新たな金融商品も紹介。

本日の内容

- ◆ FOREX.comからのお知らせ
 - ◆ 株価指数CFD、ロックアウトオプション
 - ◆ スワップ金利について
- ◆ TradingViewの活用法
 - ◆ TradingViewの活用法
 - ◆ 為替市場の見通し
 - ◆ 株式市場の見通し
 - ◆ その他

株価指数CFD/KO取引



株価指数CFD

- ◆ CFD = Contract For Difference (差金決済)
- ◆ CFDの種類
- ◆ 為替CFD = いわゆるFX
- ◆ 証券CFD
 - ◆ 株価指数CFD (日経平均、NYダウなど) → 今回のリリース
 - ◆ 個別株CFD (日本株、米国株など)
- ◆ 商品CFD

株価指数CFDのメリット

- ◆ 株価指数に連動し、売りからも入れる
- ◆ レバレッジが効くので資金効率が高い
- ◆ ほぼ一日中取引が可能
 - ◆ 日経CFDの取引時間＝東京08:00～翌07:00
- ◆ 手数料無料

CFDはTadingViewでもトレード可能

FOREX.com

FOREX.comのユーザー名

パスワード

記憶しないで下さい

接続

ブローカーに接続する事で、[ご利用上の注意](#)と[利用規約](#)を確認し、すべてのリスクを受け入れる事を承諾した事となります。

株価指数ノックアウトオプション

- ◆ 株価指数でもノックアウトオプション取引
- ◆ 取引概要はFXのノックアウトオプションと同様
 - ◆ ノックアウトUP、ノックアウトDOWN
 - ◆ オプション料＝最大損失額で更に高い資金効率

※詳細はホームページで確認

金利とスワップ金利

¥

スワップ金利市場とは

- ◆ スワップ金利市場＝期日の延長
 - ◆ 2国の短期金利を組み合わせ為替レートに換算
 - ◆ 米金利と円金利の組み合わせ
 - ◆ 米金利が5%、円金利が1%、為替レート100円の例
- ◆ 現在の1ドルは100円（ $=100円 \div 1ドル$ ）
 - ◆ 1年後に1ドルは1.05ドル（5%増加）
100円は101円（1%増加）
 - ◆ つまり1年後の1ドルは理論価格96円19銭（ $=101 \div 1.05$ ）
- ◆ 100円と96円19銭の差＝3円81銭が1年の金利差
 - ◆ 金利差を為替レートに換算したものがスワップ金利市場

T/Nスワップ金利

- ◆ T/N=Tom/Next(トムネ)
- ◆ 本日 11月14日(スポット16日)
 - ◆ 本日為替の売買を行いポジションを持つ
 - ◆ 為替レートが変化が無かったとしたら
- ◆ 翌日 11月15日(スポット17日)
 - ◆ ポジションと市場のスポットに1営業日ズレ
 - ◆ T/N市場でスポットを揃え、持ち値を変化させる
- ◆ FXではスワップ金利として日々受け払いが一般的

スワップ金利の計算

- ◆ 2022年初には日米金利差はほぼゼロ
→現在の米金利(インターバンク1日)は3.85%
- ◆ 円金利はほぼゼロなので日米金利差は3.85%
為替市場ではこれをスワップ金利として調整
スワップ金利 = 金利差 × スポット ÷ 365
= 0.0385 × 140円 ÷ 365 = 0.014767 (簡易式)
- ◆ 1万通貨であれば10000倍して約148円が概算値
外貨買いなら受け、外貨売りなら払い
概算値±で考えれば大きなズレはない

TradingViewの活用法



TradingViewを使うメリット

- ◆ 多くの端末に対応
 - ◆ ブラウザ、デスクトップ (Windows, macOS)、スマホ (android, iOS) に対応し同期も可能
- ◆ 多くのプロダクトを1つのツールで
 - ◆ FX、指数先物、個別株、コモディティ、仮想通貨、経済指標
 - ◆ 株価のリアルタイムデータ取得が安価 (東証は月2ドル)
- ◆ 多くのテクニカル指標と描画ツールで高度な分析
 - ◆ テクニカル指標をトリガーとしたアラートも可能
- ◆ 付属ツールも優秀
 - ◆ 使い勝手の良い株価スクリーナー
 - ◆ チャットやアイデアで他のトレーダーと情報交換

TradingViewの画面例



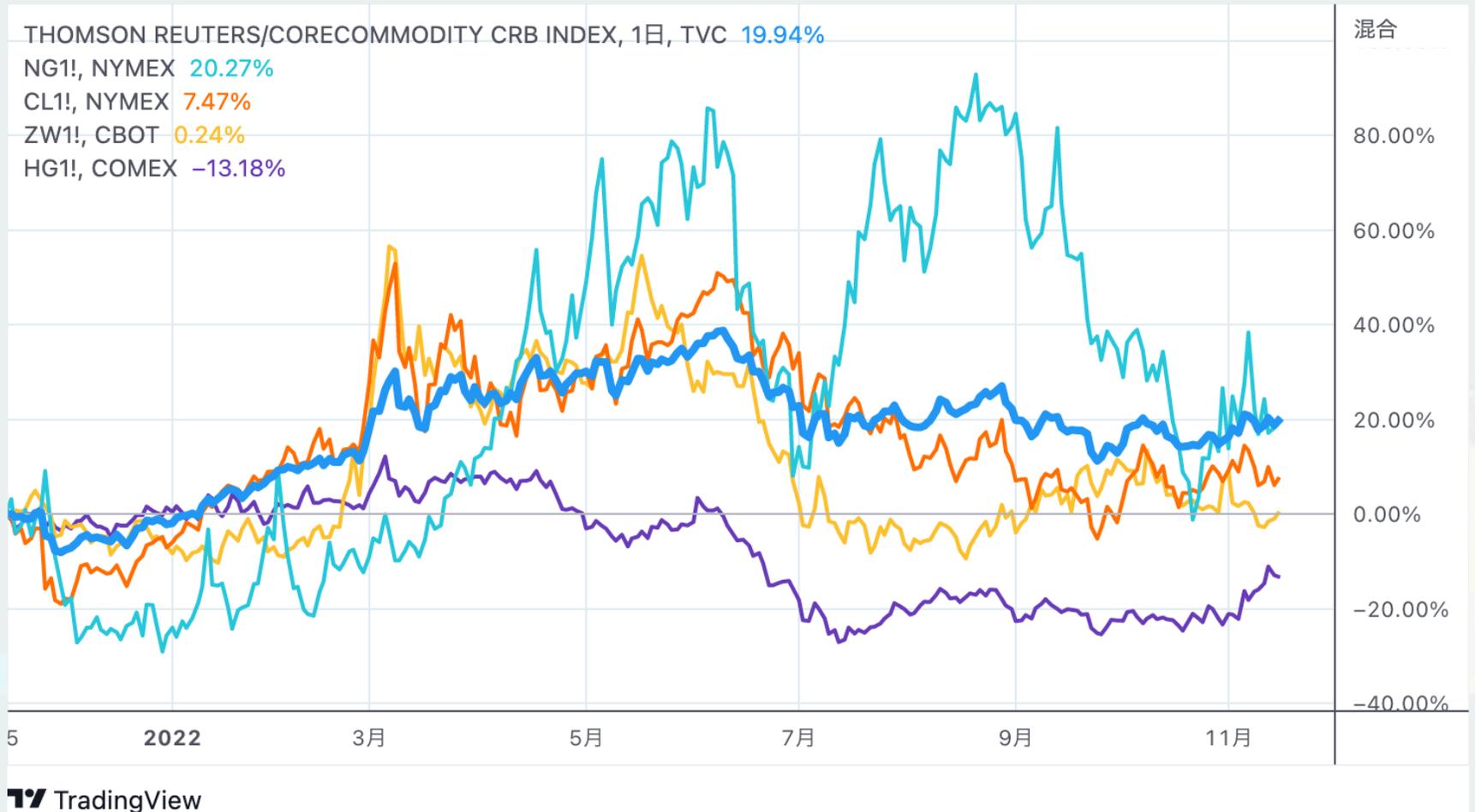
最近の金融市場全体の概要

- ◆ 高止まりするインフレと景気後退懸念
 - ◆ 金利市場＝米国の利上げペースは減速か
 - ◆ 債券市場＝米10年債利回りは3.75%台へ
 - ◆ 株式市場＝利上げペース減速を好材料にリスクオン
 - ◆ 商品市場＝一部商品価格は上昇に転じる
 - ◆ 為替市場＝ドル円を筆頭にドル安へ
 - ◆ 暗号資産＝FTX事件で上値は重い
- ◆ インフレ → 利上げ → 景気後退の見方は変わらず

主要国のCPI推移

◆ 月	米国	欧州	日本
◆ 1月	7.5%	5.1%	0.5%
◆ 2月	7.9%	5.9%	0.9%
◆ 3月	8.5%	7.4%	1.2%
◆ 4月	8.3%	7.4%	2.5%
◆ 5月	8.6%	8.1%	2.5%
◆ 6月	9.1%	8.6%	2.4%
◆ 7月	8.5%	8.9%	2.6%
◆ 8月	8.3%	9.1%	3.0%
◆ 9月	8.2%	10.0%	3.0%
◆ 10月	7.7%	10.7%	18日発表

CRB指数と主要商品（過去1年）



米国の金融政策

- ◆ FOMC 11月2日FOMCで0.75%利上げ(3.75~4.0%)
12月14日FOMCでは0.5%利上げがコンセンサス
- ◆ 金利変化 FOMC直後は引き締め堅持が見込まれたが、
10日CPIをきっかけにペースダウン思惑広がる
- ◆ FF先物

2022年3月	4.755%
2023年6月	4.910%
2023年9月	4.835%(ピーク)
2023年12月	4.480%(緩和)

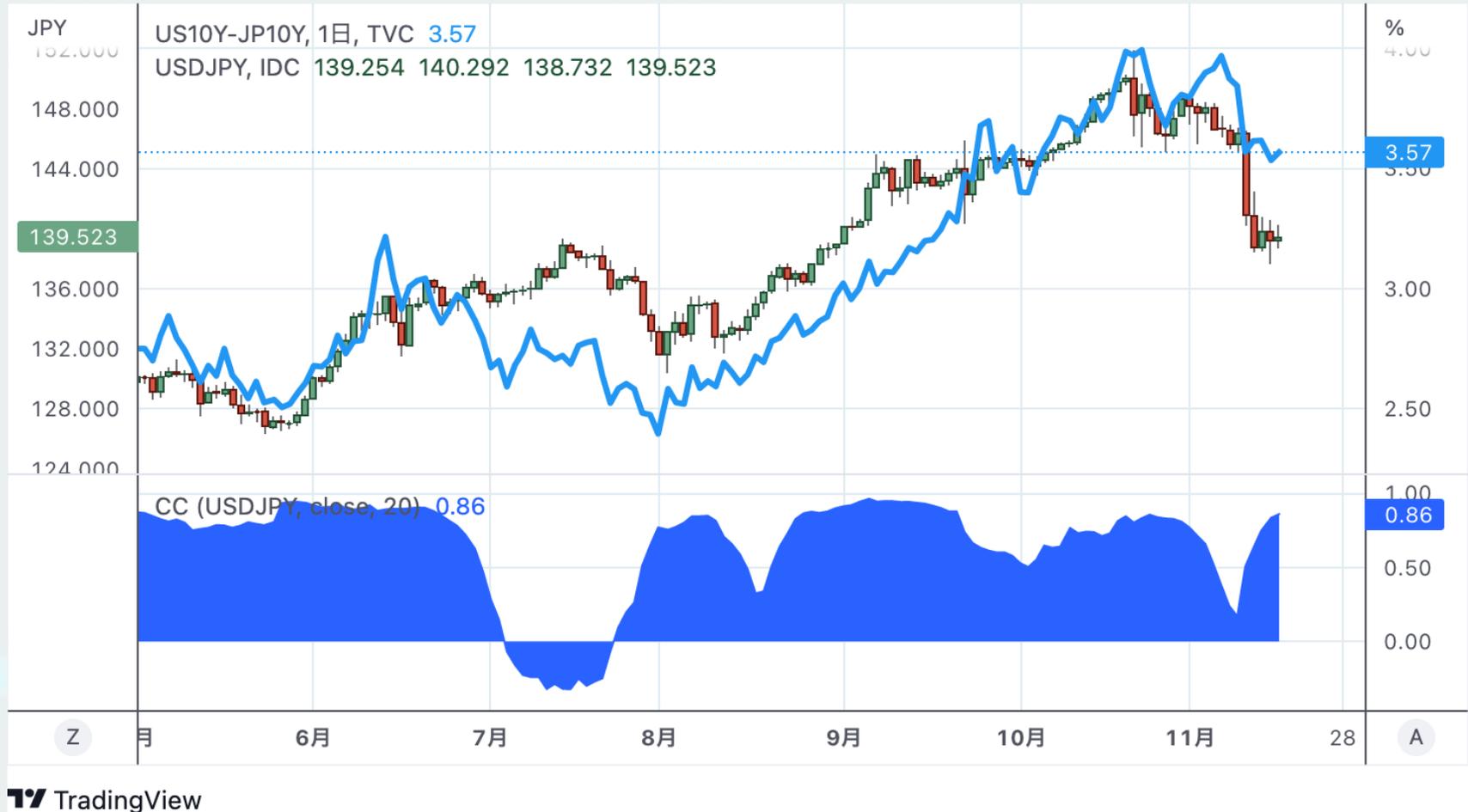
FF先物2023年3,6,9,12月限



米国2年,5年,10年債利回り日足



日米金利差とドル円日足



9～10月の円買い介入について

- ◆ 9月22日 介入金額は約200億ドル
10月21日 約360億ドル、10月24日約50億ドル
- ◆ 外為特別会計にある約1.1兆ドルを原資に実施
 - ◆ 平均コストは104円程度
 - ◆ 9～10月は米国債売却(約540億ドル)による今後の介入手当(?)で約434億ドル追加で売却
- ◆ ここまではそれなりに効果があったと思われる

ドル円年初来日足



ユーロドル年初来日足



S&P500年初来日足



セミナーサポート掲示板

- ◆ <http://seminar-support.bbs.fc2.com>

セミナーサポート掲示板
Total:387

一覧(新規投稿) | Home | ワード検索 | 使い方 | 携帯へURLを送る | 管理

お名前	<input type="text"/>
件名	<input type="text"/>
メッセージ	<div><p>絵文字 絵文字 絵文字 絵文字 動画</p><input type="text"/></div>
画像	<input type="text"/> 参照...
メールアドレス	<input type="text"/>
ホームページ	<input type="text"/>
アイコン	アイコンなし ▾
文字色	<input type="radio"/>
編集/削除パスワード	<input type="text"/>
プレビューする	<input type="checkbox"/> (投稿前に、内容をプレビューして確認できます)

過去のセミナー検索（2015年～）

◆ <https://www.forex.com/jp/forex-lab/seminars/metatrader/>

過去のセミナー

過去に行われたFOREX.comセミナーです。テーマをクリックするとセミナーの動画や資料を閲覧することができます。

当社の取扱商品についてもっと知りたい方はもちろん、当日見逃してしまった方や復習をしたい方もぜひご活用ください。

2019	2018	2017	2016	2015
日付	テーマ	動画を見る	PDF資料をダウンロード	
2019-11-28 (木)	山中康司のMT4セミナー「最も大事なエントリー&エグジットのタイミング」			
2019-10-24 (木)	山中康司のMT4セミナー「新興国通貨の妙味とリスク」			
2019-9-26 (木)	山中康司のMT4セミナー「年末に向けた取引戦略とは」			

次回セミナーのお知らせ

- ◆ 12月15日(木)20時～
<https://youtu.be/EFMMDIQ0Iqw>
- ◆ TradingViewの活用法
 - ◆ 取り扱うテーマ(予定)
 - ◆ TradingViewの活用法
 - ◆ 為替市場の見通し
 - ◆ 株式市場の見通し
 - ◆ 質問もお待ちしております